

傳葉田舎原氏  
+

特 別  
^13  
4274  
10





浮葉

日名原

十編

種  
類  
自  
作

113  
4274  
10

91-2341

# 倭紫田舎源氏

十編 上冊

種彦作 國貞画

この十編目多く出来の仕さふらぶも表紙彫刻摺り等  
間々ありの賣知一さひふれぬあるはさうい様より  
あり所の表紙にて仕立ぬうきし鞋文のついでか製本仕  
りしは種彦の草紙の表紙のよきものよりさおわりの  
はくもこれありゆりゆりある程偏し頼むげそまうりゆ

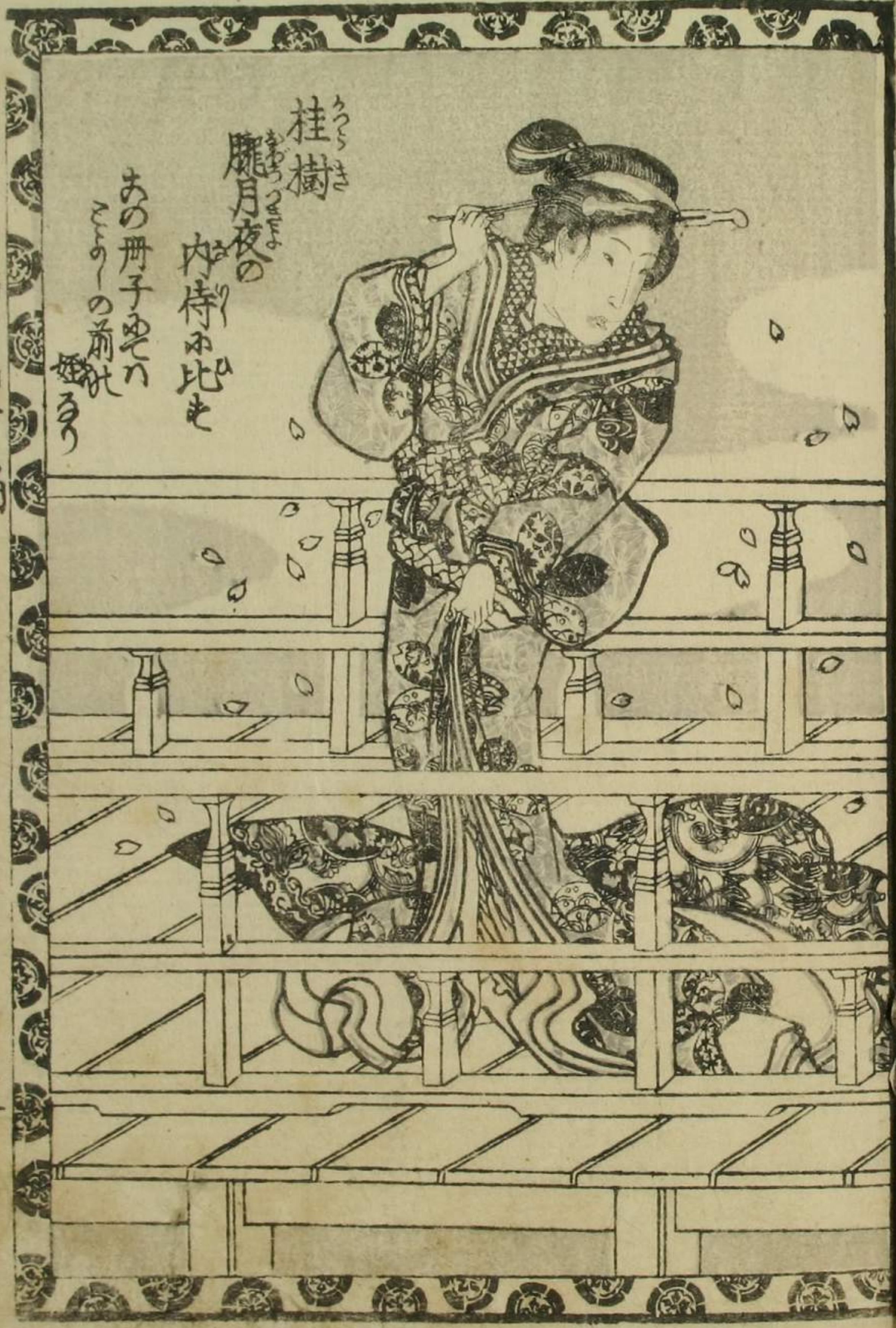
板元 鶴屋喜右衛門敬白

追て表紙出来のう人のおんのぞきよまを表紙をうりも  
價とさうめはさうさうの仕ゆ

## 舎源氏第十編序

熱湯好湯番ふりら。湯の熱くてもくもはれうぬれ何何  
温る温湯好湯番ふりら。湯の温くてもくもはれ何何  
熱くあるはゆり事のあり初めその田舎源氏を作りて  
刻老る友人予曰。いふは源氏の條にさうさうさうさう  
用ひて書きし源氏を流るる事さうのさうの助とある事  
源氏の條を翻案して歌舞妓狂言浮瑠璃のちりさうさう  
者やのなる。予あつた源氏の如くさうと散へ老人の熱湯好湯  
狂言歌舞妓のちりさうさうさうさうさうさうさうさう  
初編の草紙のちりさうさうさうさうさうさうさうさう  
物びう人丸堂の言言場温くはゆであのこれと標題の源氏  
水ふるらうと巻の詞をさう折くで去年今年と流るの既ぬ

源氏十編



桂樹

朧月夜の

内侍お比

あの冊子あての  
この前の  
おひら



光氏廿歳

花の宴の

ひらひら

こめ  
画けり

廿歳

たて

春の夜の

朧月夜の

あつめの

源氏

三

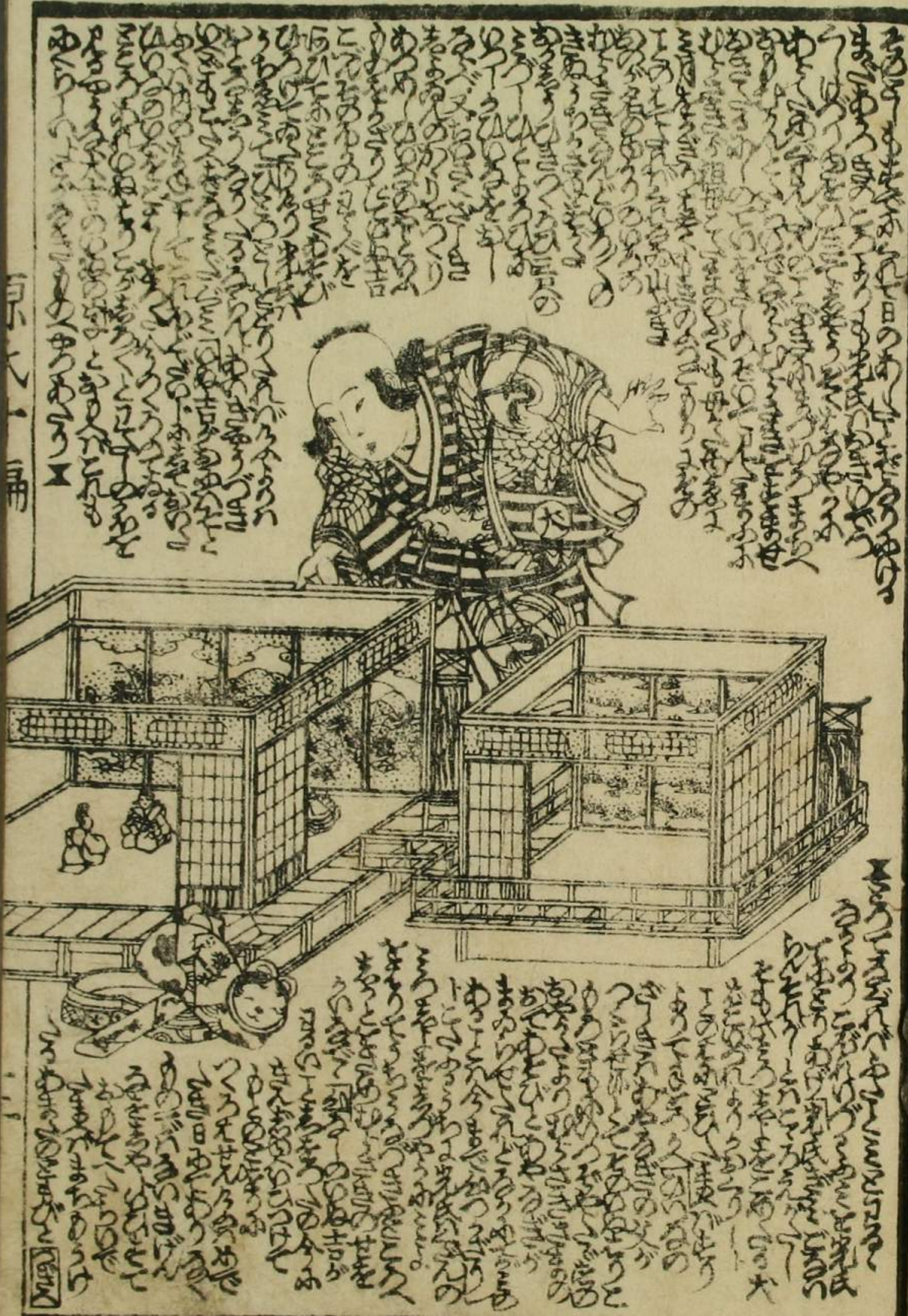
十編ふ及び。あまの湯の加減未分る赤本ありぬ初が多くて  
 熱て積うくおろさか仙窟堂を打あ次の編より狂言のあをうめて  
 温くせん板元六湯屋の亭主作者の湯番は異なるま。どうでもかうま  
 這入人かあをままのあて一家の作と見識あつても戸棚がうま  
 空てあつた。眠氣あつて居るま。十編で運ぶ消炭は當りつけぬま  
 預ひされ御客様方の清々意よかろふやうゆと井戸るなごも  
 あう。竹の篋で板の間の摺仕立を奇麗ゆて新米糠の袋入  
 随分出精はうはつり明奉体の札を掛き紙拂底に竹直  
 わげといふ場をこゝえ代りお現金湯の清美知のうは買ひれ

天保癸巳初春

柳亭種彦敬白

一の 終

あまの湯のまが紅葉のあまの巻よりひて先氏が十九女の元旦の事あり記し  
 せむのむするの巻へもあつたその巻全くとて又あまののがり巻へかへる

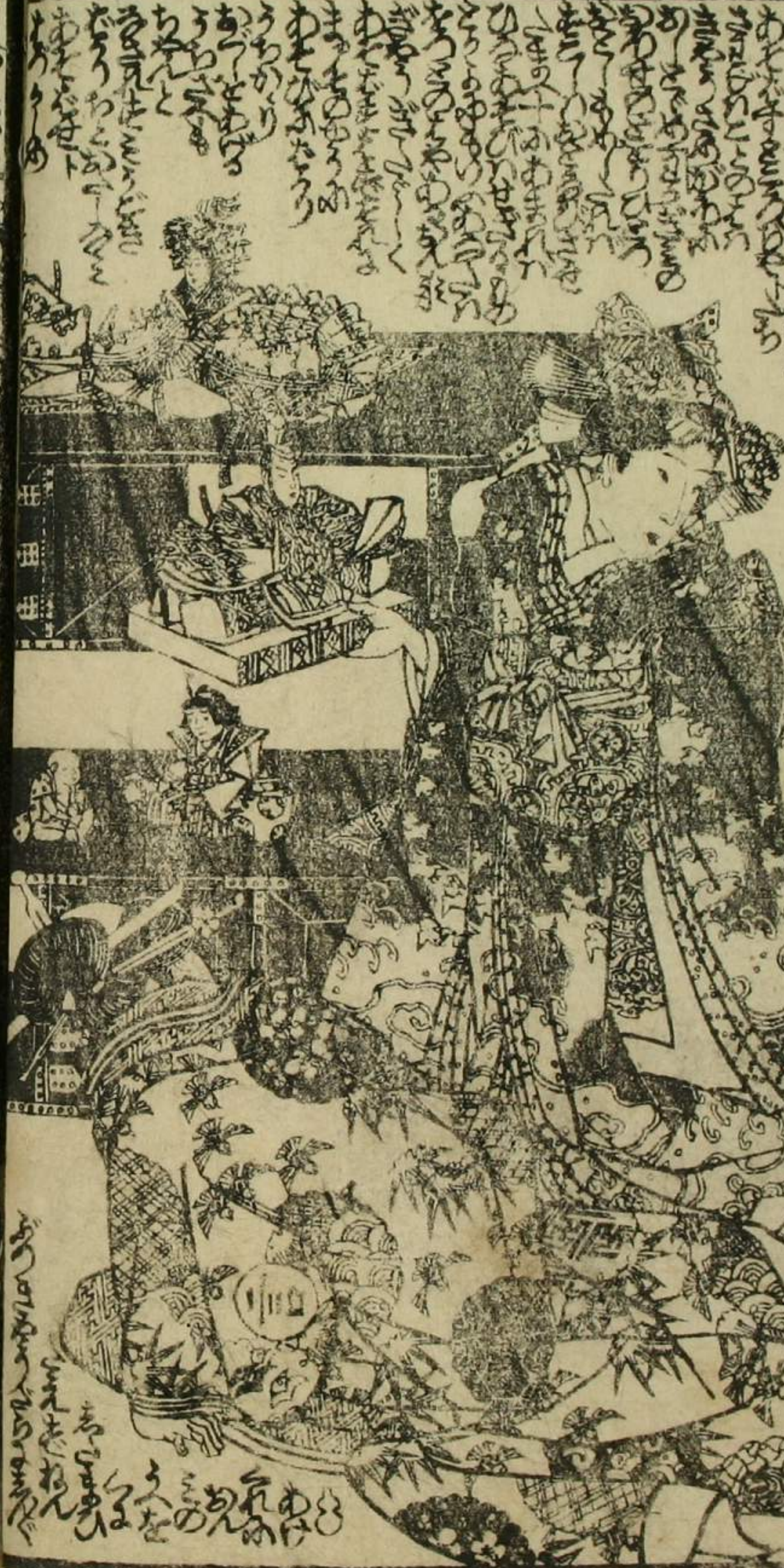


あまの湯のまが紅葉のあまの巻よりひて先氏が十九女の元旦の事あり記し  
 せむのむするの巻へもあつたその巻全くとて又あまののがり巻へかへる  
 あまの湯のまが紅葉のあまの巻よりひて先氏が十九女の元旦の事あり記し  
 せむのむするの巻へもあつたその巻全くとて又あまののがり巻へかへる

あまの湯のまが紅葉のあまの巻よりひて先氏が十九女の元旦の事あり記し  
 せむのむするの巻へもあつたその巻全くとて又あまののがり巻へかへる  
 あまの湯のまが紅葉のあまの巻よりひて先氏が十九女の元旦の事あり記し  
 せむのむするの巻へもあつたその巻全くとて又あまののがり巻へかへる

Vertikal text block in the upper right corner of the right page, written in cursive Japanese calligraphy.

Vertical text block in the lower right corner of the right page, written in cursive Japanese calligraphy.



Narrow vertical text block along the gutter between the two pages, written in cursive Japanese calligraphy.



Narrow vertical text block along the gutter between the two pages, written in cursive Japanese calligraphy.

Vertical text block in the upper left corner of the left page, written in cursive Japanese calligraphy.

Vertical text block in the middle left of the left page, written in cursive Japanese calligraphy.

Large block of vertical text in the lower left corner of the left page, written in cursive Japanese calligraphy.



光氏をたのまひて...  
かへりて...  
よもぎの...  
ふしむ...  
かへりて...  
よもぎの...  
ふしむ...

光氏...  
かへりて...  
よもぎの...  
ふしむ...  
かへりて...  
よもぎの...  
ふしむ...

Vertical columns of handwritten Japanese text on the top right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text on the bottom right page.

Vertical columns of handwritten Japanese text on the top left page.



Vertical columns of handwritten Japanese text on the bottom left page.





源氏十編  
あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり

法公のしるし  
あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり

あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり

あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり

あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり

あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり



あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり

あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり

あはれさうのひこれ  
えんぞろ  
まじり





左の女は...  
 右の女は...  
 大甕...  
 籠...  
 松...  
 竹...  
 草...



右の女は...  
 窓...  
 松...  
 竹...  
 草...

五人...  
 夜...  
 窓...  
 松...  
 竹...  
 草...



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the top and right sides of the illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the bottom and left sides of the illustration.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the bottom and left sides of the fan illustration.



Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the top and right sides of the large illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the bottom and left sides of the large illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text surrounding the bottom and left sides of the large illustration.



為  
系  
下

十  
編  
下

信  
力  
骨  
花  
板



# 源氏物語

十編 下冊

種彦作

板元 仙雀堂

は如めて一寸のちあつてうやま  
 ありの田舎げん一のうらめてくらはの梅くまの雪  
 毎年のふゆのふゆと目くらまのふゆと二ねつと  
 二ねつとこの鶴屋よあがせ彫摺精密不製  
 本年二月より奉仕しつるあはれ程の程これ又を希の

画人 歌川國貞



源氏物語

わが心は... 源氏物語の一場面を描いた挿絵の上部に記された和歌や物語の本文。文字は縦書きで、右から左へ読む。



わが心は... 挿絵の下部に記された和歌や物語の本文。文字は縦書きで、右から左へ読む。

わが心は... 挿絵の上部に記された和歌や物語の本文。文字は縦書きで、右から左へ読む。



わが心は... 挿絵の下部に記された和歌や物語の本文。文字は縦書きで、右から左へ読む。



つぎに... 光氏... 光氏ハ...



光氏ハ... 光氏ハ...

光氏ハ... 光氏ハ...

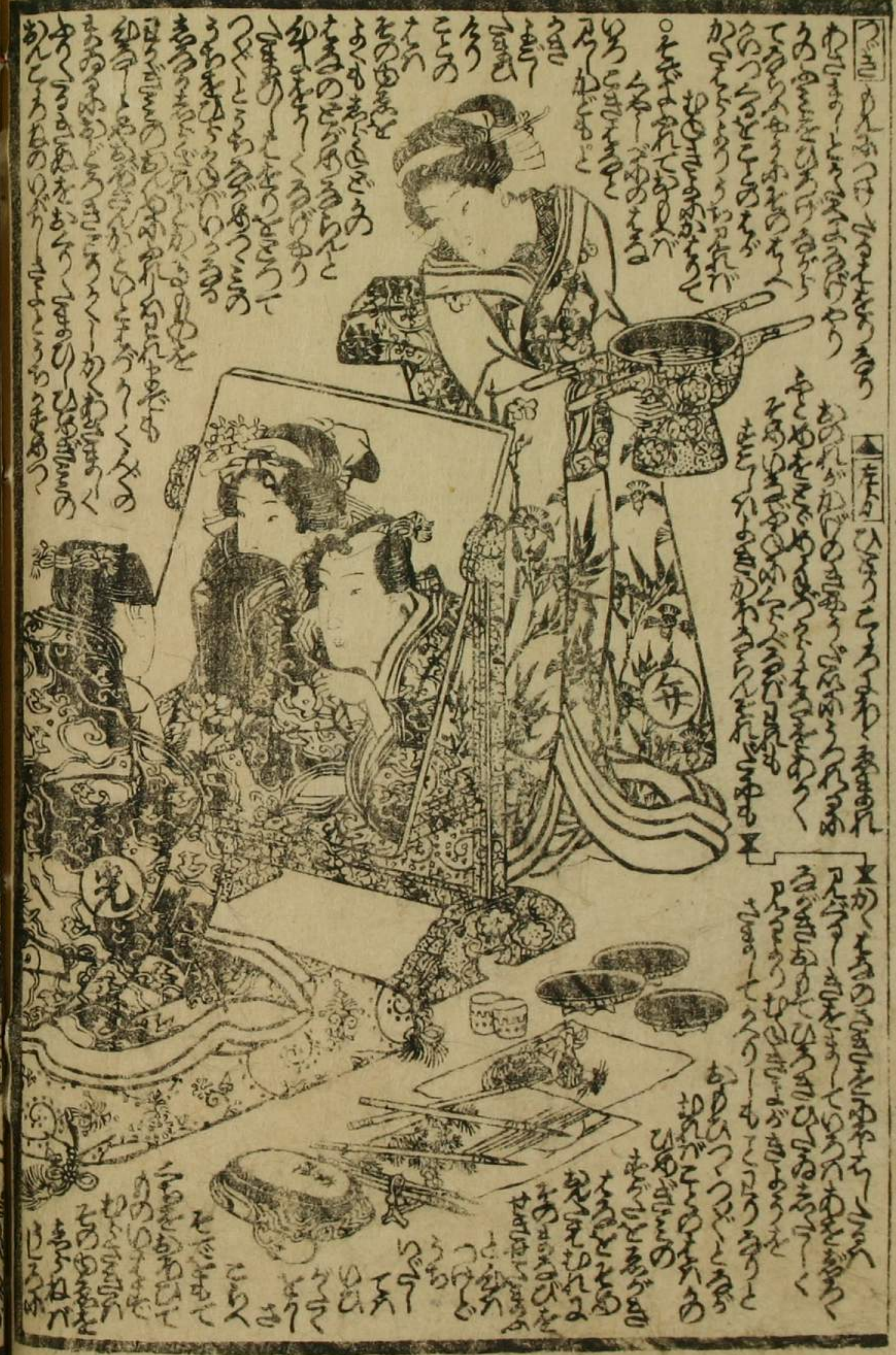


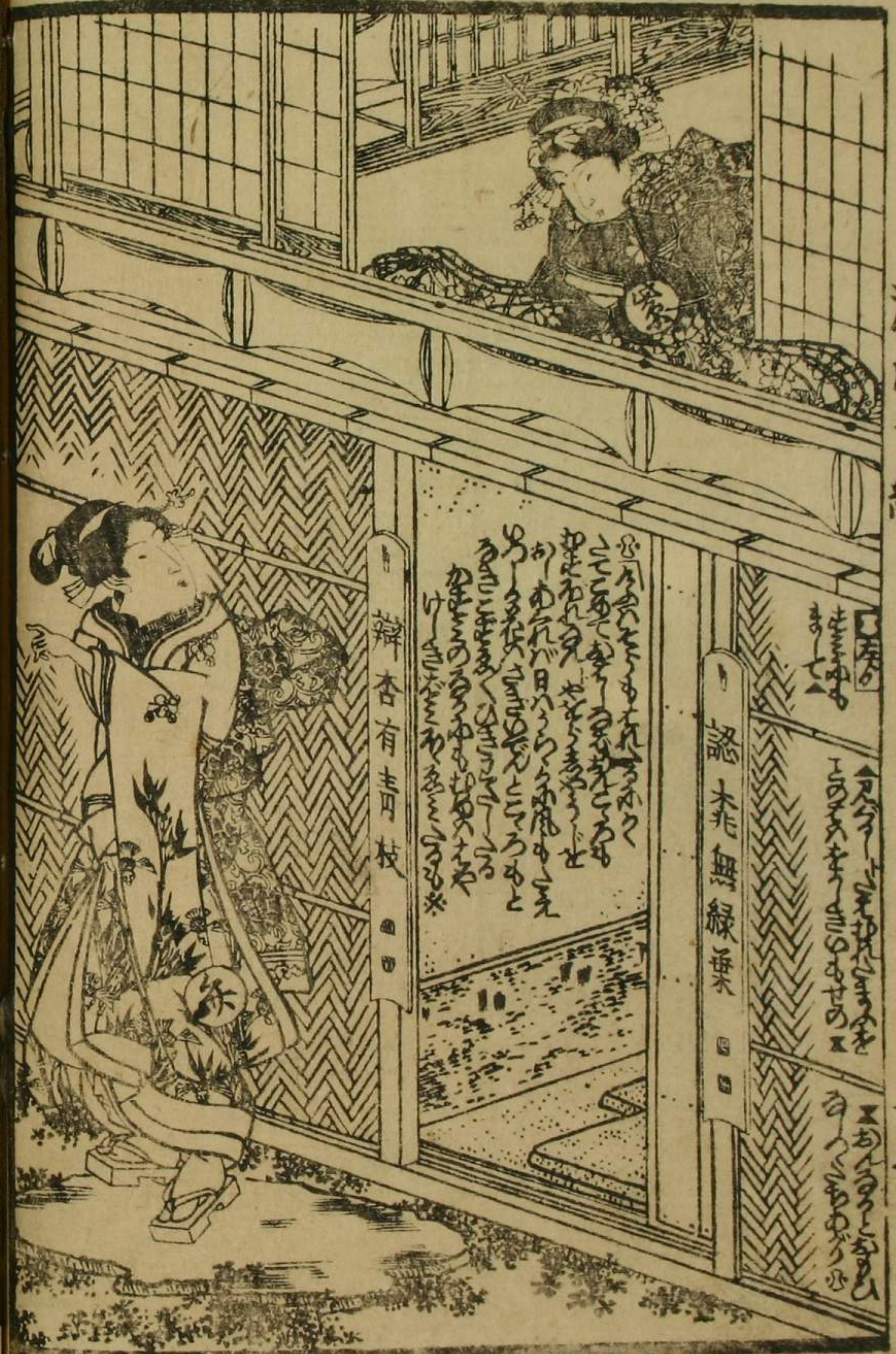
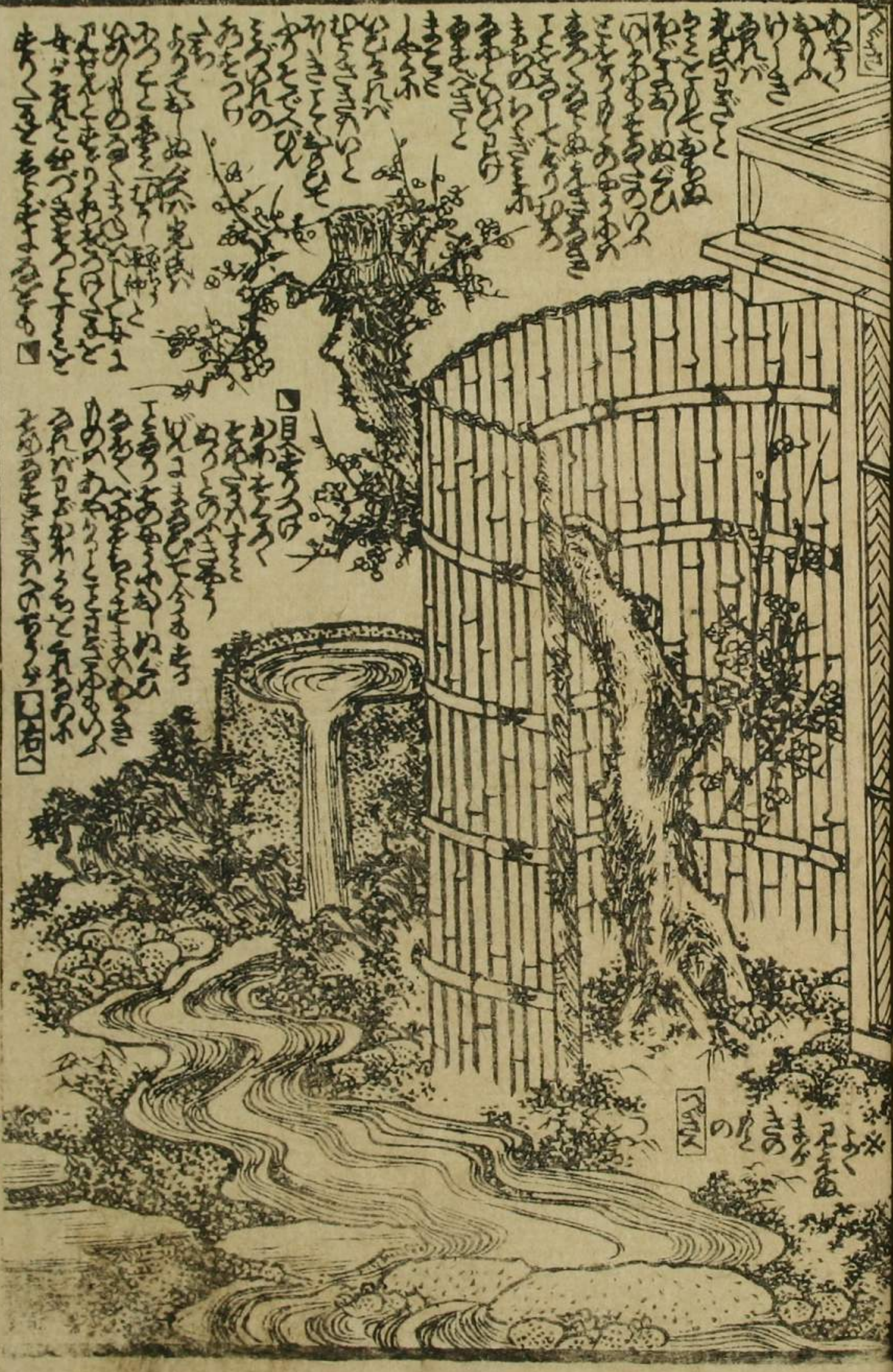
光氏ハ... 光氏ハ...



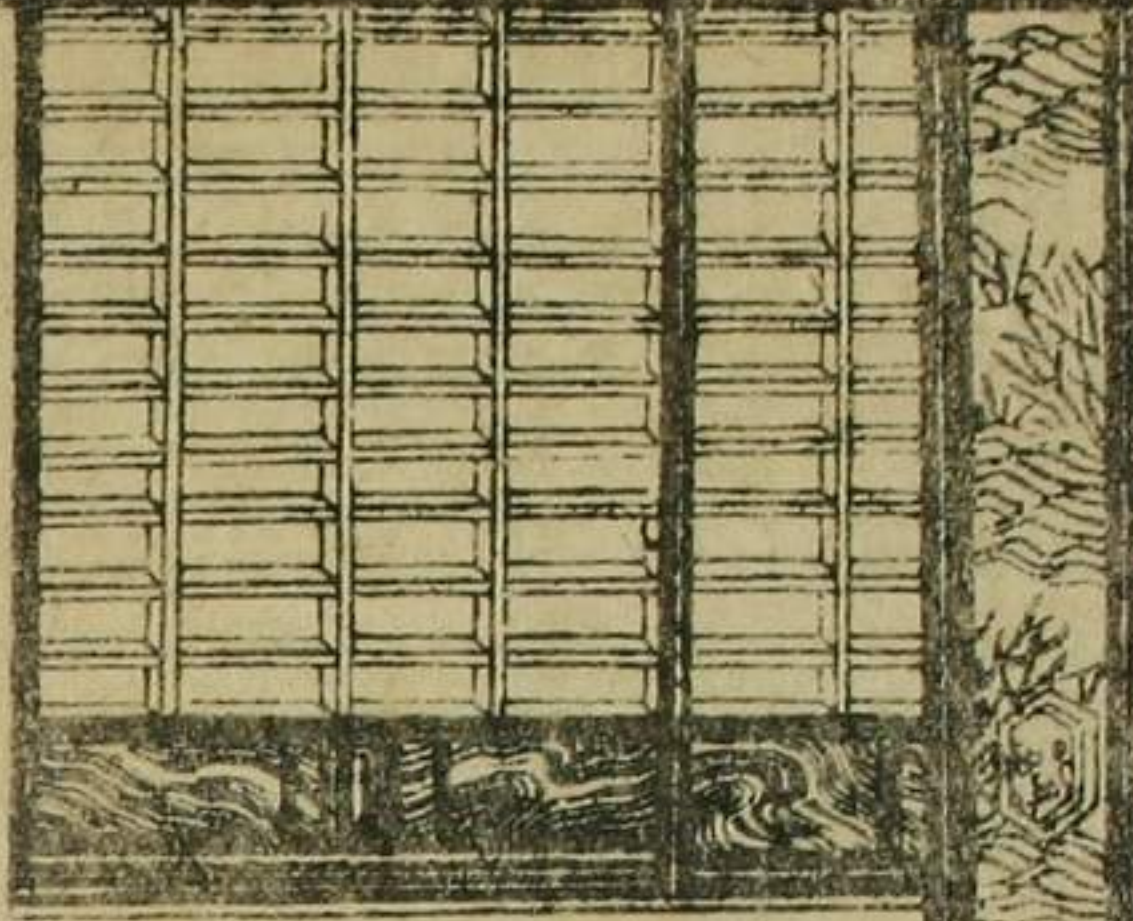








〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...



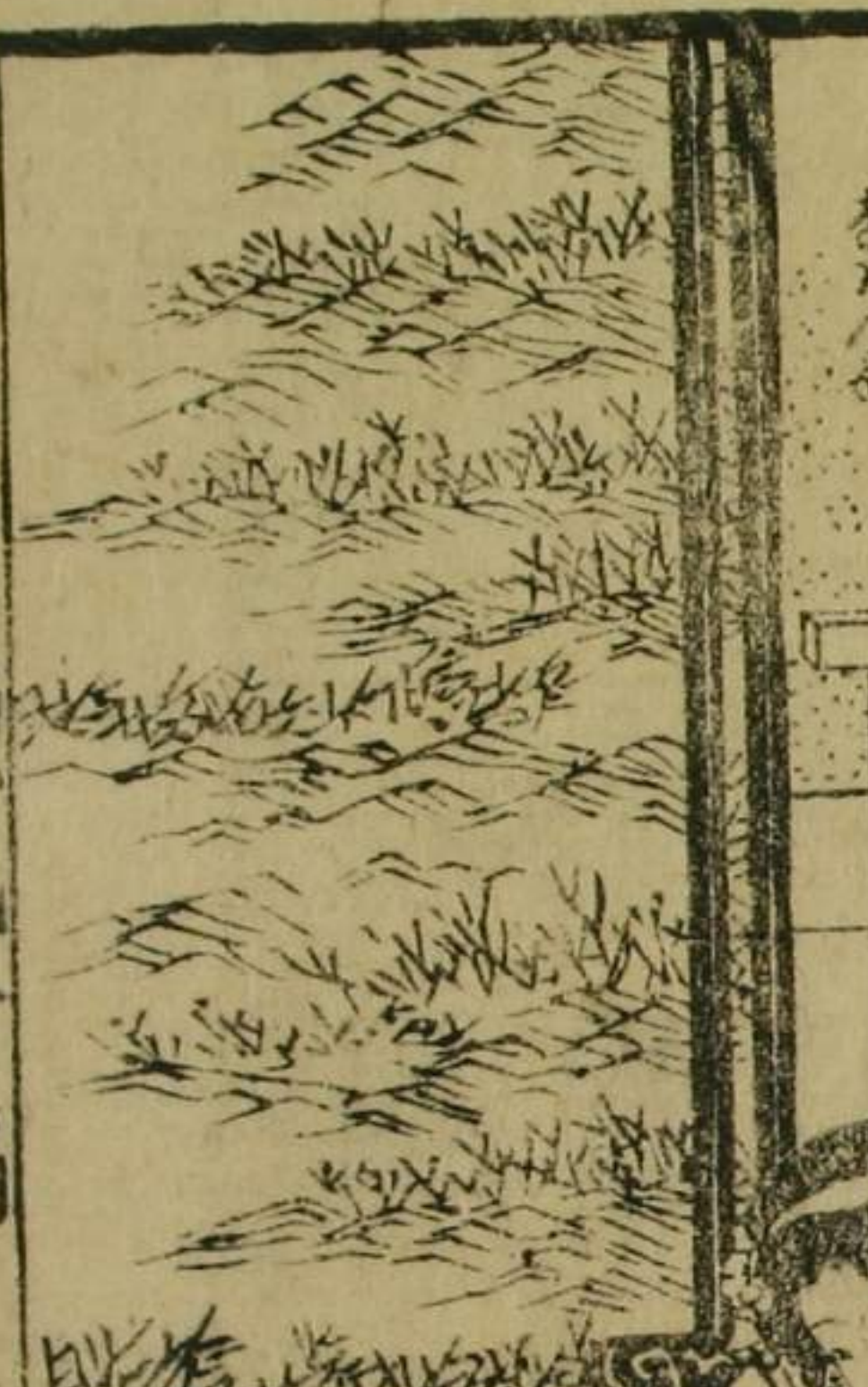
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...



〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...



〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...



〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...  
〇まわりの山々...

四月の初め... 春の気配... 桜の花... 雨の降る... 田舎の風景... 旅の思い出... 故郷の懐かしさ... 自然の美しさ... 人間の情け... 世の無常... 人生の苦しみ... 死の恐怖... 神の御業... 仏の教え... 道徳の心... 正義の力... 愛の大切... 誠の大切... 孝の大切... 忠の大切... 節の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切...



四月の初め... 春の気配... 桜の花... 雨の降る... 田舎の風景... 旅の思い出... 故郷の懐かしさ... 自然の美しさ... 人間の情け... 世の無常... 人生の苦しみ... 死の恐怖... 神の御業... 仏の教え... 道徳の心... 正義の力... 愛の大切... 誠の大切... 孝の大切... 忠の大切... 節の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切...

四月の初め... 春の気配... 桜の花... 雨の降る... 田舎の風景... 旅の思い出... 故郷の懐かしさ... 自然の美しさ... 人間の情け... 世の無常... 人生の苦しみ... 死の恐怖... 神の御業... 仏の教え... 道徳の心... 正義の力... 愛の大切... 誠の大切... 孝の大切... 忠の大切... 節の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切...



四月の初め... 春の気配... 桜の花... 雨の降る... 田舎の風景... 旅の思い出... 故郷の懐かしさ... 自然の美しさ... 人間の情け... 世の無常... 人生の苦しみ... 死の恐怖... 神の御業... 仏の教え... 道徳の心... 正義の力... 愛の大切... 誠の大切... 孝の大切... 忠の大切... 節の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切... 義の大切... 礼の大切... 智の大切... 勇の大切... 信の大切... 仁の大切...



# 種彦作 國貞画



作者曰  
 此は種彦の作なり  
 國貞の画なり  
 此の畫は種彦の  
 國貞の筆なり

源内侍の  
 比とてはるその  
 信ゆららる

筆耕形道友  
 此の畫は種彦の  
 國貞の筆なり  
 種彦の作なり  
 國貞の画なり

## 天保己春新版書林本地問屋仙堂

<p>傾城水滸傳第十一編  <small>東川 四冊</small></p>	<p>年中五節供推講譯  <small>東川 八冊</small></p>	<p>三國志畫傳第五編  <small>東川 八冊</small></p>	<p>八萼藤王傳  <small>東川 全六冊</small></p>	<p>霞帶  <small>東川 全六冊</small></p>	<p>修紫田舎源氏  <small>東川 全六冊</small></p>	<p>仙女香堂  <small>東川 全六冊</small></p>	<p>成野香  <small>東川 全六冊</small></p>
<p>百人一首童講譯  <small>東川 四冊</small></p>	<p>花街雀  <small>東川 全四冊</small></p>	<p>國字水滸傳第十二編  <small>東川 全四冊</small></p>	<p>春遊霞  <small>東川 全四冊</small></p>	<p>星下梅花咲  <small>東川 全四冊</small></p>	<p>問屋鶴屋喜齋  <small>東川 全四冊</small></p>	<p>仙女香堂  <small>東川 全四冊</small></p>	<p>成野香  <small>東川 全四冊</small></p>



問屋鶴屋喜齋  
 江戸通油町



